

**1**  
特集

## 若者の視点で県政に提言

Vol.42  
February  
2025

### — 埼玉県知事と学生の意見交換会開催 —

11月1日(金)、本学の学生が大野元裕埼玉県知事に政策を提言する「知事と学生の意見交換会」が開催されました。この取り組みは、2010年に始まり、今年で15年目を迎えました。若者の感性を県政に活かすとともに、大学を生きる学習の場とすることを目的としており、これまでに学生たちの提案をもとに実現に至った政策もあります。

大野知事による全体講評では「今回は面白いだけでなく、すぐに対処すべきトピックが多かった。提言発表を聞いて頭の中にアイデアがいろいろと浮き出てきたので、社会的課題の解決に向けていい形で伸ばしていきたい」と熱く語られるとともに、発表した学生および指導教員への感謝が述べられました。大野知事と学生との記念撮影も行われ、盛会のうちに終了しました。



▲小嶋文准教授ゼミ



▲有賀健高教授ゼミ



▲内田奈芳美教授ゼミ



▲大津唯准教授ゼミ



▲江口幸治准教授ゼミ

今回の政策提言のテーマ	発表者
視覚聴覚による犯罪者の行動抑制とリスク体験による防犯意識向上施策	工学部 小嶋文 准教授ゼミ
未来にきらめく下水污泥肥料と県産農産物	経済学部 有賀健高 教授ゼミ
沼の見沼	経済学部 内田奈芳美 教授ゼミ
学生から進める男性の育児休業取得促進	経済学部 大津唯 准教授ゼミ
興味のタネをまく!埼玉県職員募集の新たな広報戦略	経済学部 江口幸治 准教授ゼミ



▲総評を述べる大野知事

2  
学生

## 「CEOチャレンジ」中間ピッチで本学学生チームが1位受賞!

10月6日(日)、埼玉県主催の大学生等を対象とした起業伴走プログラム「CEOチャレンジ」中間ピッチで、本学学生のチームが1位を受賞し、事業化検証資金30万円が授与されました。「CEOチャレンジ」は埼玉県から世界を変える学生起業家を生み出すことを目的としたプログラムで、起業に必要なスキルの習得や実証実験のサポートなどが受けられます。今後、メンタリング伴走支援を受けた後、最終ピッチにて支援金の支給対象となるチームが決定されます。

受賞チーム	[nekonata]
メンバー	理工学研究科 博士前期課程1年：田原大輔、大澤弘明、 神田慧佑、栗林郁馬、高木陸人 情報工学科4年：堤陸太



▲受賞の様子

3  
学生

## モノづくりサークルの夢を乗せた挑戦 一大会で栄誉ある賞を受賞!

学生の手でクルマを企画・設計・製作するモノづくりサークル 埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトが、9月9日(月)～9月14日(土)に愛知県国際展示場で開催された学生フォーミュラ日本大会2024で「日本自動車工業会会長賞」を受賞しました。

学生フォーミュラ日本大会は、学生が自ら構想・設計・製作した車両(小型フォーミュラカー)を用いて、車両の走行性能や安全性・デザイン性等の総合力を競う大会です。審査は、車検、静的審査(コスト・プレゼンテーション・デザイン)、動的審査(アクセラレーション・スキッドパッド・オートクロス・エンデュランス・効率)で行われます。

「日本自動車工業会会長賞」は、前述した全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走したチームに与えられる賞で、ノーパネルティであることも条件となっている中で、見事受賞しました。



▲大会の様子



▲埼玉大学学生フォーミュラプロジェクトのメンバー

4  
研究

## 「街の推し応援活動」で教育学部の浅田茂裕教授がグッドデザイン賞を受賞!

10月16日(水)、教育学部 浅田茂裕教授が野村不動産株式会社とさいたま市立浦和大里小学校と連携し実施しているシビックプライドを醸成する取り組み「街の推し応援活動」が、2024年度グッドデザイン賞を受賞しました。

この活動は、「あなたの街の推しは?」という問いかけを通じ、地域の魅力を再発見し、住む街・地域を好きになり、誇りに思えるような「シビックプライド」を育てることを目的としています。

小学校の総合学習の一環として実施され、小学生が自分の住む街にある、ほかの人におすすめしたいものを「推し」として選び、応援うちわの作成や展示会、さらに「推し」に会いに行くツアーを通して、地域の魅力を探索・表現し、地域の人とともに伝え合う取り組みです。

従来は大人が中心だったまちづくりに、子どもたちが参加することで、次世代を巻き込み地域への主体的な関わりを促進した点が評価され、この度の受賞となりました。



▲授与された賞状



## 令和6年度学長表彰表彰式開催 8名が受賞!

11月15日(金)、令和6年度学長表彰表彰式を開催しました。学長表彰は、職務に顕著な功績があった教職員や社会的な功績があった教職員を表彰することを目的として平成29年度に創設した制度です。

表彰では、教育・研究活動に顕著な功績があった教員に「学長賞」、「学長奨励賞(教育)」、「学長奨励賞(研究)」、「学長特別賞(みずき賞)」が授与されました。

坂井眞文学長から各受賞者に対し、表彰状及び副賞が授与されました。坂井学長はあいさつで、研究・教育分野における各受賞者の功績を称えた後、これまで受賞者が重ねてこられた努力に敬意を表し、「今後のご活躍も大いに期待しています」と激励しました。

受賞者を代表して大学院理工学研究科の豊田正嗣教授があいさつを行い、場所、人ともに恵まれた環境で研究を進めることができたことに感謝の意を述べた後、今後の自身の研究の展望にも触れ、「皆さんの期待に応えられるよう、より一層研究に精進したい」と決意を新たにしていました。

各賞の詳細はこちら

[https://www.saitama-u.ac.jp/news\\_archives/202411030900.html](https://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/202411030900.html)



▲(前列左より)学長賞の川本教授、豊田教授、坂井学長、学長奨励賞の武田教授、学長特別賞のBJOERK教授  
(中列左より)学長奨励賞の木山准教授、小島准教授、山口教授、王教授  
(後列左より)重原理工学研究科長、石井理事、野中理事、木嶋理事、戸部教育学部長、宮田教養学部長

## 令和6年度文部科学省「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に採択

文部科学省補助金事業の「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業<sup>\*</sup>(地域等連携型)」について、本学のプログラム「地域共創—ダイバーシティ課題解決—レジリエント社会研究」の三位一体による実践的な多文化共生教育の全学展開が採択されました。

本学が計画する事業の目的は、近年の採択事業や組織機能強化を基盤に、「地域共創」「ダイバーシティ課題解決」「レジリエント社会研究」の3要素に関するこれまでの取り組みの成果を、多文化共生教育に接続することで、地域中核大学ならではの地域志向型の新しい国際教育を展開し、「ソーシャルインパクト」の創出を目指しています。

<sup>\*</sup>国内外での国際的な共修のための体制の構築等を通じ、更なる大学の国際化の推進、日本人留学生の派遣、優秀な外国人留学生の受入れ・定着それぞれが相互に作用する好循環の創出を目的として、文部科学省において令和6(2024)年度から開始される事業です。補助期間は、令和6(2024)年度より令和11(2029)年度の6年間となっております。



## ホームカミングデー 2024開催 —卒業生、退職教職員、地域の皆さまと共に創る絆の一日—

11月23日(土)、埼玉大学同窓会(5学部各同窓会)との共催により、ホームカミングデー2024を実施しました。ホームカミングデーは卒業生、退職教職員、地域の方々との交流の場として平成22年度から開催されています。

今年度も学園祭である「むつめ祭」と同時開催とし、大学院理工学研究科の田代信教授(JAXA XRISMプロジェクト研究主宰者)による「X線天文衛星XRISM(クリズム)の開発と国際拠点連携」と題した講演や各学部イベントを開催し、多くの方々にご来場いただきました。

講演会では、田代教授の示唆に富むお話に、参加者は皆熱心に聞き入っていました。懇親会では、今年度の前期期間において、学業や課外スポーツ活動に顕著な成績を収めた学生への表彰も行われ、卒業生との交流など楽しいひとときとなりました。



▲多くの方にご参加いただいた歓迎会・講演会の様子

## ジェンダーやセクシュアリティに寄り添う場として —DEIコミュニティラウンジ「SAiTO」がオープン—

10月10日(木)、埼玉大学DEIコミュニティラウンジ「SAiTO」がオープンしました。「SAiTO」は、ジェンダー、セクシュアリティを中心としたダイバーシティに関心のある学生や教職員を対象とした居場所です。埼玉大学ダイバーシティ推進センター内(研究機構棟3階)にあります。コミュニティスペースで過ごしたり、専門知識を持った職員に相談したりすることができます。

※DEI: Diversity, Equity and Inclusionの頭文字で、「多様性」「公平性」「包括性」という意味



▲ラウンジスペース



▲関連書籍

9 産学民

# 地域密着型インターンシップの成果

## — 埼玉大学の学生たちが織り成すまちづくりと子ども向けイベント

「課題解決型インターンシップ」では、本学、企業・団体、特定非営利活動法人ブランディングポートの産学民連携による講義での実践活動の一環として、学生たちがまちづくり体験や子ども向けイベントの企画・運営に参画するプログラムを実施しています。

11月30日(土)は、WE LEAGUE(女子サッカーリーグ)最終戦、大宮アルディージャ VENTUS 対 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの試合会場NACK5スタジアム大宮で、埼玉大学の学生たちが子どものあそび場である「キッズパーク」を開催。

12月1日(日)は、野村不動産のエリアマネジメントの取り組みである「Be ACTO(ビーアクト) 武蔵浦和」の「マチノバ」にて、本学の学生がまちづくり交流イベントを企画、開催しました。学生たちがプロデュースしたワークショップ・イベントは大盛況で、多くの地域住民や子どもたちが来場し、学生たちとの交流を深めました。



▲「キッズパーク」の様子



◀「マチノバ」の様子

### 埼玉大学基金室より 「埼玉大みらい基金」のご案内

埼玉大学基金は、目的別に「埼玉大みらい基金」「埼玉大学修学サポート基金」「冠奨学金基金」の3種類の基金がございます。今回はそのうちの一つ「埼玉大みらい基金」をご紹介します。「埼玉大みらい基金」は、下記の通り大学の機能強化及び学生への奨励事業などに幅広く支援しています。(使途のご指定がある場合は、寄附者様のご意向に沿って活用させていただきます)

教育・研究に関する支援	キャンパスの環境整備に関する支援	国際交流事業への支援	社会連携事業への支援	学生への奨励事業に関する支援
 <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育プログラムの整備充実等</li> <li>○国際的研究力の向上等</li> <li>○図書館での書籍の購入</li> </ul> <p>本学の多様な研究内容を社会の課題解決に繋げる共創拠点形成への取組みや大学図書館資料の充実などに活用されています。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全・安心・快適なキャンパス整備等</li> </ul> <p>ベンチを設置するなどキャンパス環境整備に活用されています。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○海外留学の促進等</li> <li>○外国人留学生受入促進等</li> </ul> <p>ウクライナからの避難学生への支援に活用されました。また、留学に必要な検定試験受験料を補助するなどの支援に活用されています。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○企業との連携強化等</li> <li>○地域・社会との連携充実等</li> <li>○埼玉大学生広報サポーター活動支援</li> </ul> <p>自治体や民間企業等の連携事業にボランティアとして参加する学生への支援に活用されています。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○特に優秀な学生への給付型奨励金制度の創設</li> </ul> <p>その他、学生生活支援の一環として「100円朝食」の提供に活用されています。</p>

なお、ご寄附の活用状況はホームページにて公開しております。皆様からの多大なご支援に心より御礼申し上げます。

「埼玉大学基金令和5年度活動報告」  
<https://www.saitama-u.ac.jp/funds/pdf/report.pdf>



QRコード▶

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。



詳しくはホームページをご覧ください  
<https://www.saitama-u.ac.jp/funds/>

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和6年 12月末の状況 **723,943,745円**

うちリサイクル募金 きしゃぼん によるご寄附 **1,598,041円**

お問い合わせ先 埼玉大学基金室 (総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

